

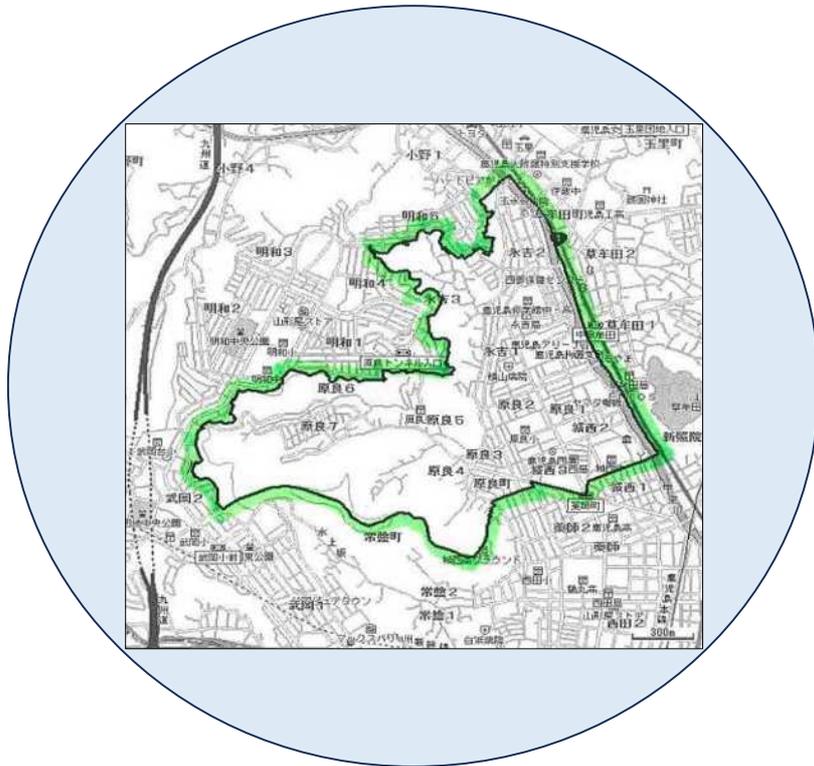
原良校区

まちづくりプラン

第2期（令和6年度～10年度）

次世代につなごう

文教コミュニティ原良校区



原良校区コミュニティ協議会

事務局：〒890-0026

鹿児島市原良2丁目1番1号（原良校区公民館内）

TEL・FAX 204-9170

メールアドレス hararakouku@po5.synapse.ne.jp

目 次

○ 第2期まちづくりプランの策定にあたって	
1 まちづくりのスローガン	1
2 コミュニティ協議会の運営方針	1
3 各部会の活動の基本方針	1
4 コミュニティ協議会の活動	2
5 コミュニティ協議会の活動計画	3
6 構成団体	6
7 組織図	7
8 第2期まちづくりプラン策定委員	8
【 資料編 】	
① 原良校区について	10
② 校区及び近隣の公共施設等	12
③ 第1期の活動記録	14

○ 第2期まちづくりプランの策定にあたって

原良校区コミュニティ協議会は、町内会や校区社会福祉協議会、地区民生委員・児童委員協議会、あいご会、スポーツ少年団など地域コミュニティである各種活動団体が連携・協力し、地域の「絆」が深まる活動を展開するために、平成29年8月に設立されました。

平成30年度に「住民が支え合う安全で快適なわがまち」を実現しようと校区の課題を整理し、課題に取り組むために令和元年度から令和5年度までの「第1期まちづくりプラン」を策定、構成団体も増やししながら、本協議会や構成団体においてプランに基づく活動をしてきたところです。そして「第1期プラン」の最終年度である令和5年度、「住民が支え合う安全で快適なわがまち」の更なる実現に向けて令和6年度から令和10年度までの向こう5年間の「第2期まちづくりプラン」を策定することにしました。

策定にあたっては、これまでの取り組みや活動を検証しながら、「校区の課題は第1期プラン策定時と変わらず、これからも取り組んでいかなければならない課題であること」「この5年間は、大部分の期間がコロナ禍の影響を受け十分な活動を展開できなかったこと」等をふまえ、「スローガン」及び校区の課題に取り組むための「コミュニティ協議会の運営方針」「各部会の活動の基本方針」については第1期プランをほぼ継承することとし、また展開する活動等についても多くを継続することにしました。

これからも「住民が支え合う安全で快適なわがまち」の実現に向けて校区の皆様の一層のご支援とご協力をお願いします。

1 まちづくりのスローガン

次世代につなごう 文教コミュニティ原良校区

2 コミュニティ協議会の運営方針

- 1 住民参加によるまちづくり
- 2 構成団体の連携・協力によるまちづくり
- 3 住民、構成団体が情報を共有したまちづくり
- 4 プランを基にした自助・共助によるまちづくり



3 各部会の活動の基本方針

総務部会

地域住民の共生・協働による安全で快適なまちづくり

社会教育部会

住民に学ぶ楽しさが広がるまちづくり



社会体育部会

住民が健康づくりに取り組むまちづくり



社会福祉部会

住民が相互に支え合うまちづくり



安心安全部会

住民が安心安全に暮らせるまちづくり

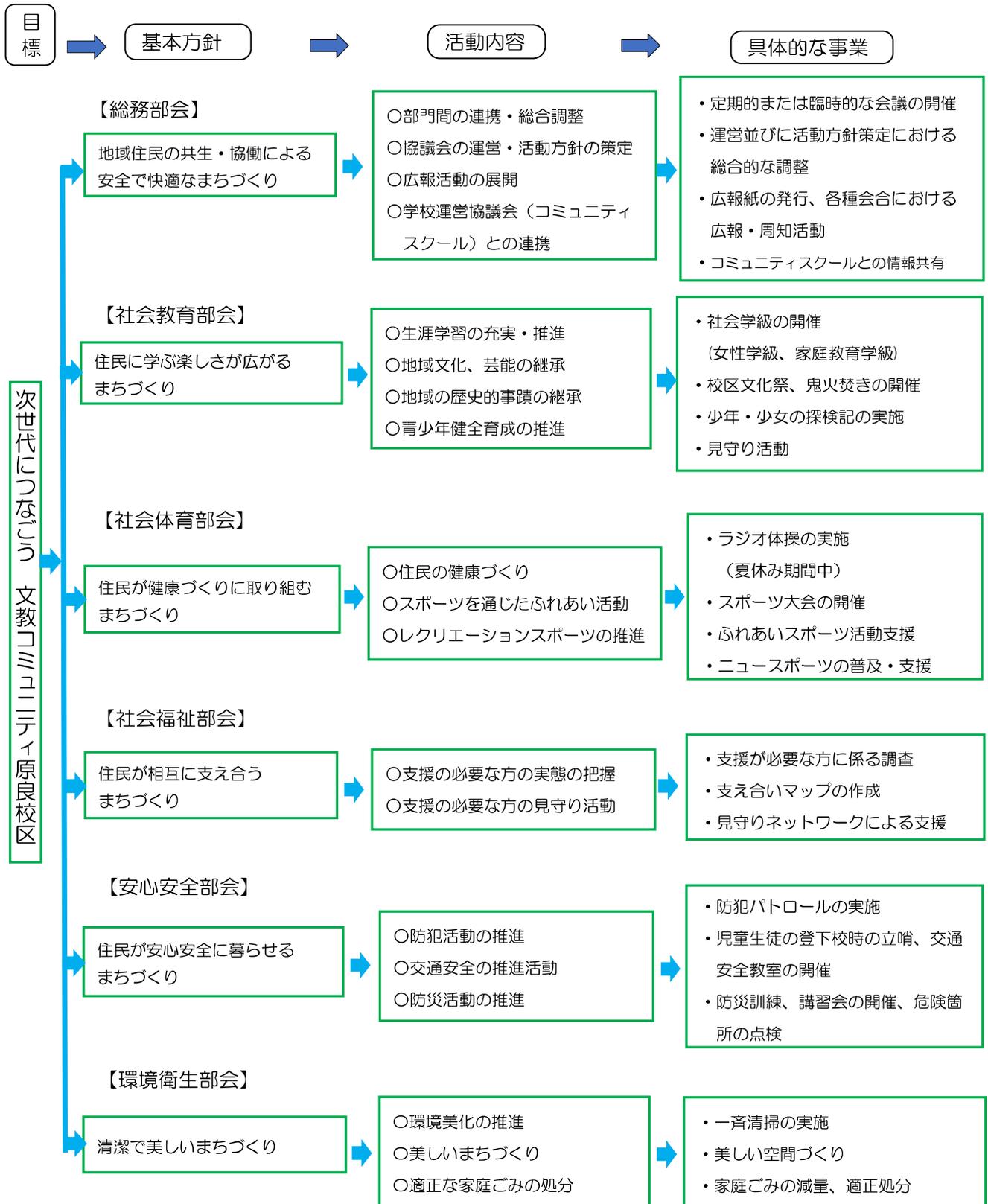


環境衛生部会

清潔で美しいまちづくり



4 コミュニティ協議会の活動



5 コミュニティ協議会の活動計画

(第1期の評価： たいへん良い◎ 良い○ もう少し△)

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業のねらい	第1期の評価	計画スケジュール					新規／継続	備考		
								6	7	8	9	10				
1	地域住民の共生協働による安全で快適なまちづくり	部門間の連携・総合調整		総務部会	定期又は臨時の会議の開催 ・三役会 ・役員会 ・部会	部門間又は構成団体間の連携と協調を図る。	◎	○	○	○	○	○	○	継続		
2		協議会の運営・活動方針の策定		総務部会	運営並びに活動方針策定における総合的な調整		△	○	○	○	○	○	○	継続		
3		広報活動の展開	広報誌の発行 各種会合での広報・周知	総務部会	・定期的な広報誌の発行 ・各種会合における広報、周知	活動内容等を地域住民等に周知することによって、活動への理解や参加促進につなげる。	○	○	○	○	○	○	○	継続		
4		学校運営協議会（コミュニティスクール）との連携	コミュニティスクール連携事業	総務部会	コミュニティスクールとの情報共有	子どもたちの学びや成長を支える	△	○	○	○	○	○	○	新規		
5	住民に学び楽しさが広がるまちづくり	生涯学習の推進	社会学級の開催	社会教育部会	家庭教育学級、父親セミナー、女性学級の開催 ※成人学級の再開	必要な教養や知識、技能を習得することにより生きがいを得る。	○	○	○	○	○	○	○	継続		
6		地域文化、芸能の継承	地域文化、芸能大会の開催	社会教育部会	校区文化祭の開催	日頃の文化活動の発表を通じて文化活動の充実とふれあいを図る。	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	
					夏祭り、鬼火焚き、餅つき大会等の実施	地域に根付いた文化を継承する。	○	○	○	○	○	○	○	○	継続	
7		地域の歴史的事蹟の継承	地域の歴史的事蹟を巡る	社会教育部会	少年・少女の探検記の実施	地域の歴史を掘り起こし、つなぐ。	△	○	○	○	○	○	○	新規		
8	青少年健全育成の推進	見守り活動	社会教育部会	夏休み補導	青少年健全育成の一助とする。	△	○	○	○	○	○	○	継続			

番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業のねらい	第1期の評価	計画スケジュール					新規／継続	備考
								6	7	8	9	10		
9	住民が健康づくりに取り組むまちづくり	住民の健康づくり	健康づくり活動	社会体育部会	ラジオ体操の実施(夏休み期間)	ラジオ体操を通じ健康づくりが習慣化する。	◎	○	○	○	○	○	継続	
10		スポーツを通じたふれあい活動	ふれあいスポーツ大会	社会体育部会	スポーツ大会の開催(第1期は校区運動会)	体力づくりとともに異年齢のふれあいを通じ、住民の融合と親睦が築かれる。	◎	○	○	○	○	○	継続	
11		レクリエーションスポーツの推進	スポーツ活動の支援	社会体育部会	ふれあいスポーツ活動支援 ニュースポーツの普及・指導	年齢、体力に応じたスポーツへの取り組みが健康増進につながる。	◎	○	○	○	○	○	継続	
12	住民が相互に支え合うまちづくり	支援が必要な方の実態の把握	支援が必要な方に係る調査	社会福祉部会	支援が必要な方の戸別調査(高齢者、障害者、子育て家庭など)	支援が必要な方を把握し、マップを作成することによって、相互に支え合う基礎を作る。	○	○	○	○	○	○	継続	
			支え合いマップの作成	社会福祉部会	支え合いマップの作成		△	○	○	○	○	○	○	継続
13	住民が相互に支え合うまちづくり	支援が必要な方の見守り活動	見守りネットワークによる支援	社会福祉部会	見守りネットワークによる見守り、声掛け、誘いなど。	支援が必要な方の見守り、声掛け、サロン等への誘いによって、孤立をふせぐ。	○	○	○	○	○	○	継続	
14	住民が安心安全に暮らせるまちづくり	防犯活動の推進	防犯パトロール	安心安全部会	定期的な防犯パトロールの実施	住民に注意喚起することによって防犯意識を高める。	○	○	○	○	○	○	継続	
			防犯灯の整備	安心安全部会	防犯灯の設置、管理	夜間における犯罪防止につなげる。	○	○	○	○	○	○	○	継続

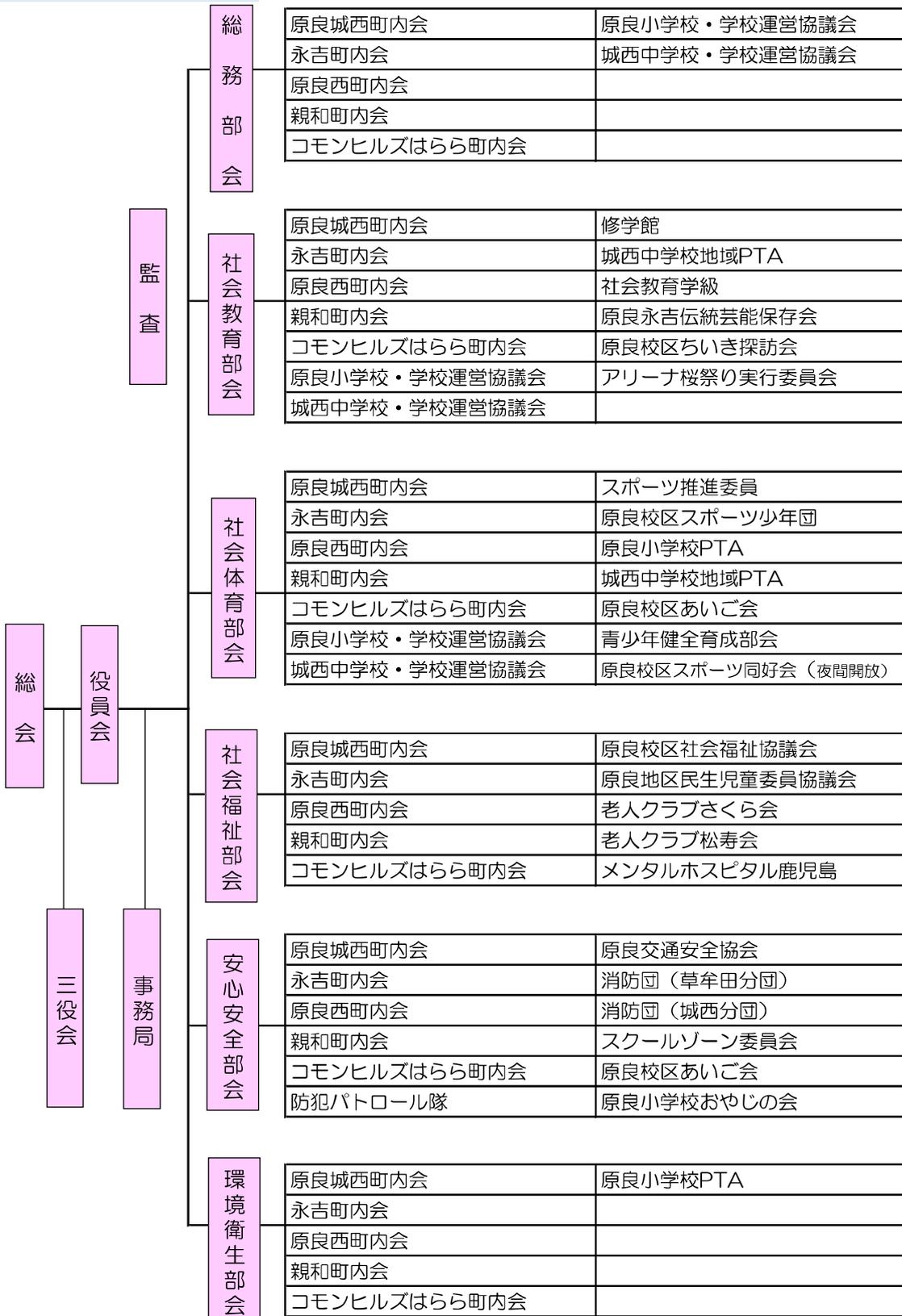
番号	基本方針	活動内容	事業名	実施部会	事業内容	事業のねらい	第1期の評価	計画スケジュール					新規／継続	備考
								6	7	8	9	10		
15	住民が安心安全に暮らせるまちづくり	交通安全活動の推進	交通安全活動	安心安全部会	児童生徒の登下校時における立哨	児童生徒の安全の確保。	○	○	○	○	○	○	継続	
					交通安全教室の開催	高齢者や子どもの交通事故防止につなげる。	△	○	○	○	○	○	継続	
16	防災活動の推進	防災活動の推進	防災訓練、講習会の実施	安心安全部会	消火訓練、避難訓練、講習会の実施	災害発生への対応力が高まり、被害防止につながる。	○	○	○	○	○	○	継続	
			災害危険箇所の点検・対策	安心安全部会	災害危険箇所の点検と対策	災害危険箇所を認識し、災害を未然に防ぐ。	○	○	○	○	○	○	○	継続
17	清潔で美しいまちづくり	環境美化の推進	一斉清掃の推進	環境衛生部会	定期的な一斉清掃の実施	地域内の清潔度が高まり、生活環境が良くなる。	○	○	○	○	○	○	継続	
18		美しいまちづくり	美しい空間づくり	環境衛生部会	公園、広場の植栽、管理	花木の植栽などによって美しい街並みができる。	○	○	○	○	○	○	継続	
					空き家の実態の把握	景観の維持を図る。	△	○	○	○	○	○	○	新規
19	適正な家庭ごみの処分	家庭ごみの適正処分	環境衛生部会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 搬出マナーの向上策 ・ ごみステーションの設置・管理 ・ ごみの減量化、資源化 ・ 市と呼应した「家庭ごみマイナス100g」キャンペーンの展開 	資源ごみの適正な処分は美しいまちづくりにつながる。	◎	○	○	○	○	○	継続		
														終了

6 構成団体

(令和6年3月末現在)

NO	団体名	代表	活動領域
1	原良城西町内会	幾村 清徳	地域づくり
2	永吉町内会	上木 康熙	地域づくり
3	原良西町内会	西 洋子	地域づくり
4	親和町内会	門松 経久	地域づくり
5	コモンヒルズはらら町内会	黒岩 聡	地域づくり
6	原良小PTA	児玉真一郎	初等教育
7	原良小学校・学校運営協議会	界 敏則	初等教育
8	城西中学校地域PTA	若松 太志	中等教育
9	城西中学校・学校運営協議会	木原 正博	中等教育
10	原良校区あいご会	北脇 一恵	青少年育成
11	鹿児島修学館中学校・高等学校	中島 亮	中等教育
12	青少年健全育成部会	—	青少年育成
13	スポーツ推進委員会	末吉 洋一	社会体育
14	スクールゾーン委員会	宮島 俊郎	地域安全
15	社会教育学級	西 洋子	生涯学習
16	校区社会福祉協議会	上木 康熙	地域福祉
17	原良校区スポーツ少年団	知識 哲郎	青少年育成
18	防犯パトロール隊	宮島 俊郎	地域防犯
19	原良交通安全協会	宮島 俊郎	地域交通安全
20	消防団（草牟田分団）	宮島 俊郎	地域防災
21	消防団（城西分団）	白濱 祐二	地域防災
22	原良小おやじの会	笹沢 信隆	青少年育成
23	原良地区民生委員・児童委員協議会	山下 實久	地域福祉
24	老人クラブさくら会	西 洋子	高齢者福祉
25	老人クラブ松寿会	深川 幸三	高齢者福祉
26	メンタルホスピタル鹿児島	松原 康久	法人代表
27	原良校区スポーツ同好会（夜間開放）	森田 寅雄	社会体育
28	原良永吉伝統芸能保存会	益田 愛子	社会教育
29	アリーナ桜祭り実行委員会	幾村 清徳	地域づくり
30	原良校区ちいき探訪会	吉峯 栄助	社会教育

7 組織図



8 第2期まちづくりプラン策定委員

	役 職	氏 名	備 考
1	会 長（兼）安心安全部 部会長	門 松 経 久	親和町内会会長
2	副会長（兼）環境衛生部 部会長	幾 村 清 徳	原良城西町内会会長
3	副会長（兼）総 務 部 部会長	上 木 康 照	永吉町内会会長
4	副会長（兼）社会教育部 部会長	西 洋 子	原良西町内会会長
5	社会体育部 部会長	知 識 哲 郎	校区スポーツ少年団代表
6	社会福祉部 部会長	山 下 寛 久	原良地区民生委員児童委員協議会会長
7	総 務 部 副部会長	界 敏 則	原良小学校校長
8	副会長（兼）総務部 副部会長	黒 岩 聡	コモンヒルズはら町内会会長
9	総 務 部 副部会長	林 徹	永吉町内会庶務部長
10	社会教育部 副部会長	木 田 美恵子	原良西町内会副会長
11	〃	池 増 知予子	城西中地域PTA会長
12	社会体育部 副部会長	若 尾 雅 広	スポーツ推進委員
13	〃	宮 元 加 代	校区あいご会会長
14	社会福祉部 副部会長	松 原 康 久	メンタルホスピタル鹿児島
15	安心安全部 副部会長	深 川 幸 三	親和町内会副会長
16	環境衛生部 副部会長	西 武 典	原良城西町内会福祉部長
17	〃	児 玉 真一郎	原良小PTA会長
18	事 務 局 長	南 園 千 尋	原良西町内会

資料編

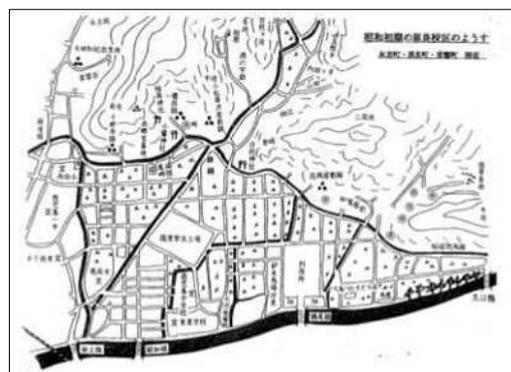
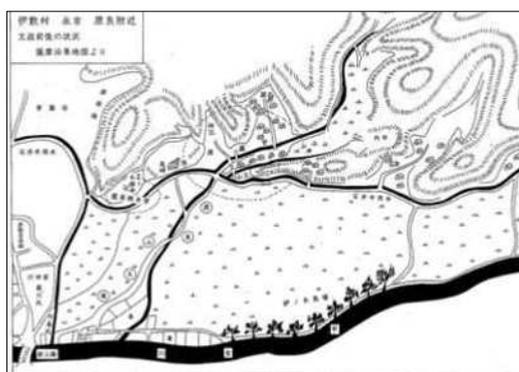
- ① 原良校区について
 - ア 地理・地形
 - イ 地名の由来
 - ウ 広がる住宅地と区画整理
 - エ おはら節発祥の地
 - オ 文教地区
 - カ 世帯数、人口、高齢化率
- ② 校区及び近隣の公共施設等
- ③ 第1期の活動記録

① 原良校区について

ア 地理・地形

校区は、鹿児島市の中部、甲突川の中流域にあり、シラス台地を侵食した原良谷と甲突川右岸の低地からなっている。地域の北方には、下伊敷、草牟田、東方には新照院、西方には常盤、明和、武岡、小野がそれぞれ接している。

西方には、急傾斜が連なり、土砂災害危険地域に指定されている所が少ない。また、甲突川右岸地域は、想定しうる最大規模の降雨による洪水浸水想定区域で、その水深は3mから5m未満と想定されている。



イ 地名の由来

「原良」という言葉は、アイヌ語の「パパラ」から出ていると考えられている。「パラ」は入り口のこと、「ラ」は下のほうの意味である。原良は、伊敷、小野地区の入口に当たることから「原良」という地名がついたと考えられる。

薩摩藩の古記に、「原羅」という字が出てくる。「良」は「羅」から変化したものと考えられ、「原良堂」という言葉も古い文書に出ていることから「はらら」という言葉は相当古い時代から使われているようだ。

また、「城西地区」と呼ばれるのは、城山の西にあるからである。

ウ 広がる住宅地と区画整理

日枝迫、枯木迫一帯は、昔は農地で、日枝迫は田畑、枯木迫は田がほとんどだったが、収穫の少ない湿地であった。昭和26年ルーヌ台風の被災地住宅として市営住宅が建設された。

永吉の山手の大地に広がる永吉団地は、以前は山林と畑であったが、昭和40年代に造成・分譲された。

また、これまで多くの官舎（公務員住宅や警察住宅など）が建設されており、近年はマンションの建設も多い。それに伴って店舗の数も増え、街の賑わいを増してきている。

さらに、交通量や人口増等を踏まえ、市街地の住宅地として安全で良好な都市環境を創設するために、道路や公園等の整備改良を行う区画整備事業が実施された。

(原良小学校「郷土はらら」参照)

エ おはら節発祥の地

原良第二公園（原良二丁目）の一角に、おはら節を踊っている姿を表現したブロンズ像が建っている。その脇に、おはら節の由来について、次のように説明されている。

『江戸時代の初め、日向国安久（現在の宮崎県都城市）の武士が陣中で唄った唄を、鹿児島島の原良（はらら）の武士が帰国後、歌詞を作って歌い始め、それが鹿児島一円に広がるにつれ、原良に「お」がついて、「小原良（おはら）」節と呼ばれるようになった。』



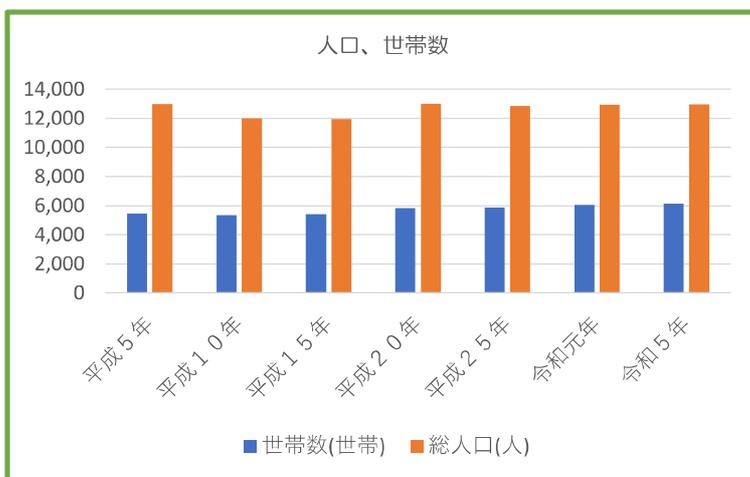
今では、コミュニティ協議会として町内会単位でおはら祭りに参加している。

オ 文教地区

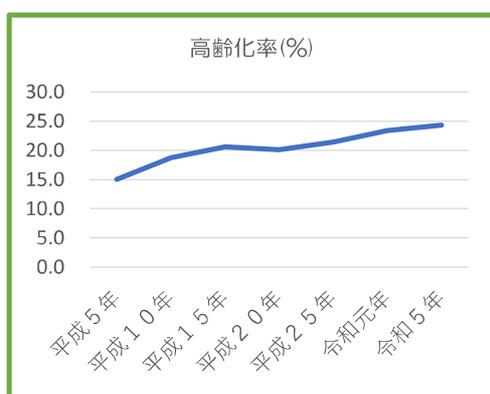
校区内には幼・保育園、中学校、高等学校、専門学校があるほか、近隣にも高等学校があり、生涯学習施設や体育施設も含めて文教施設が多数存在するという特色がある。

さらに警察署や医療施設などもあり、静かで教育的には適した環境にあることから「文教地区」とも呼ばれている。

カ 世帯数、人口、高齢化率 「鹿児島市住民基本台帳人口（各年10月1日現在）」



年	世帯数(世帯)	総人口(人)
平成5年	5,470	12,979
平成10年	5,338	11,989
平成15年	5,403	11,962
平成20年	5,815	12,993
平成25年	5,879	12,852
令和元年	6,057	12,941
令和5年	6,133	12,950



年	高齢化率(%)
平成5年	15.1
平成10年	18.7
平成15年	20.6
平成20年	20.1
平成25年	21.4
令和元年	23.4
令和5年	24.3

② 校区及び近隣の公共施設等

◎教育文化施設

○原良保育園
(原良1-16-11)



○永吉あさひ保育園
(永吉1-13-13)



○昭和幼稚園
(原良2-2-1)



○ひまわり夢ほいくえん
(永吉3-2-19)



○永吉ゆめいろ保育園
(永吉3-19-15)



○原良小学校
(原良2-1-1)



○城西中学校
(城西2-3-12)



○鹿児島修学館中・高等学校
(永吉2-9-1)



○鶴丸高等学校
(薬師2-1-1)



○鹿児島工業高等学校
(草牟田2-57-1)



○鹿児島女子高等学校
(玉里町27-1)



○鹿児島高等学校
(薬師1-21-9)



○鹿児島県立短期大学
(下伊敷1-52-1)



○原良児童クラブ（第1）
（永吉1-14-16）



○原良児童クラブ（第2・3）
（原良3-5-8）



○原良児童クラブ（第4・5）
（原良2-1-1）



◎防災防犯等施設

○鹿児島西警察署
（城西3-8-10）



○鹿児島西消防署
（城西2-1-1）



◎環境保全施設

○環境未来館
（城西2-1-5）



◎市民交流施設

○鹿児島アリーナ
（永吉1-30-1）



◎健康増進施設

○西部保健センター・温泉健康プラザ
（永吉2-21-6）



◎障害者自立交流施設

○ハートピアかごしま
（小野1-1-1）



◎自治会館・公民館等

○永吉公民館
（永吉1-3-16）



○おはら館
（原良2-6-10）



○原良西公民館
（原良6-2903-7）



○校区公民館
（原良2-1-1）



○城西福祉館
（薬師2-41-11）



○城西公民館
（草牟田1-21-8）



③ 第1期の活動記録



スローガン横幕作成 (令和元年7月)



六月灯・永吉 (令和元年7月)



六月灯・永吉 (令和5年7月)



ラジオ体操講習会 (令和元年7月)



六月灯・こども神輿 (令和5年7月)



六月灯・日枝神社 (令和5年7月)



校区運動会 (令和元年10月)



原良城西町内会



原良西町内会

もちつき大会 (令和元年12月)



おはら祭り参加



永吉町内会



親和町内会



令和元年



令和2年



令和3年



令和4年



令和5年



鬼火焚き (令和5年1月)



社会学級開講式



校区文化祭（令和5年11月）



社会学級開講式



校区文化祭（令和5年11月）



城西地区総合文化祭参加（令和5年2月）



ふれあいスポーツ大会（令和5年11月）



桜島火山爆発総合防災訓練参加（令和3年1月）



原良城西町内会



原良西町内会
もちつき大会（令和5年12月）



永吉町内会



のぼり旗作成（令和4年1月）



防災・ふくしまップ作成（令和2年10月）



「コミ協だより」の発行